

3.2.5 沖積層基底面～工学的基盤面モデルの作成

沖積層基底面から深部地盤との境界である工学的基盤面までのモデルについて、その基底面に相当する N 値 50 以上相当層上面及び下総層群基底面のコンターを作成した。

N 値 50 以上相当面については、木下層分布域では概ね木下層の下端と一致するものとみなし（表 3-1）、中里・佐藤(2001)²⁰及び 5 万分の 1 地質図『野田』（2011）²¹等の既存資料を参照してコンターを作成した。

下総層群基底面については、中里・佐藤（2001）及び千葉県水理地質図を参照してコンターを作成した。また、木下層及び下総層群の分布域については、千葉県水理地質図及び 20 万分の 1 シームレス地質図等の既存資料を参照して設定した。

代表的な断面線位置（図 3-11）における断面図を作成した（図 3-12～13）。また、代表的な地域における N 値 50 以上相当面 3 次元分布図（図 3-14）及び、工学的基盤面 3 次元分布図（図 3-15）を作成した。

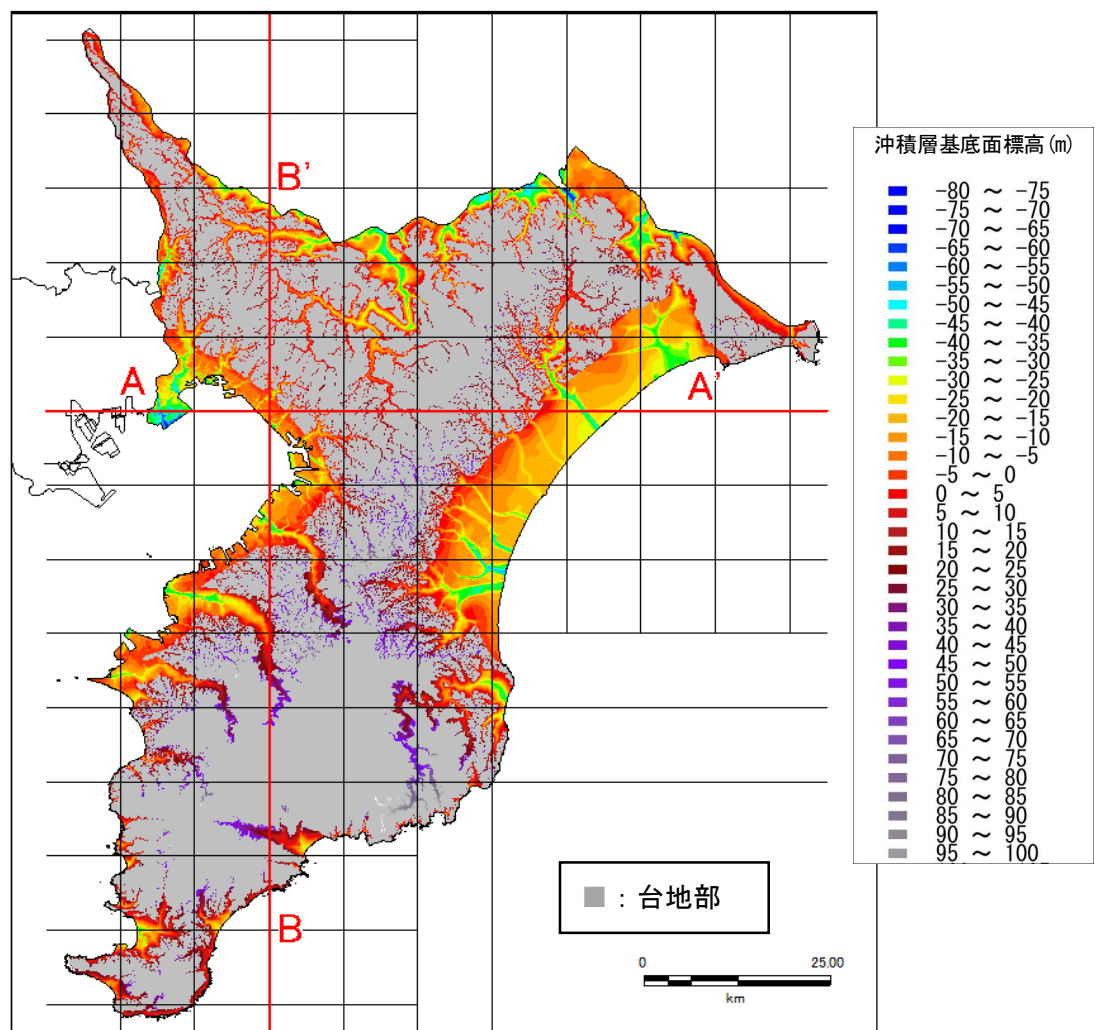


図 3-11 沖積層基底面標高及び作成した断面図の位置

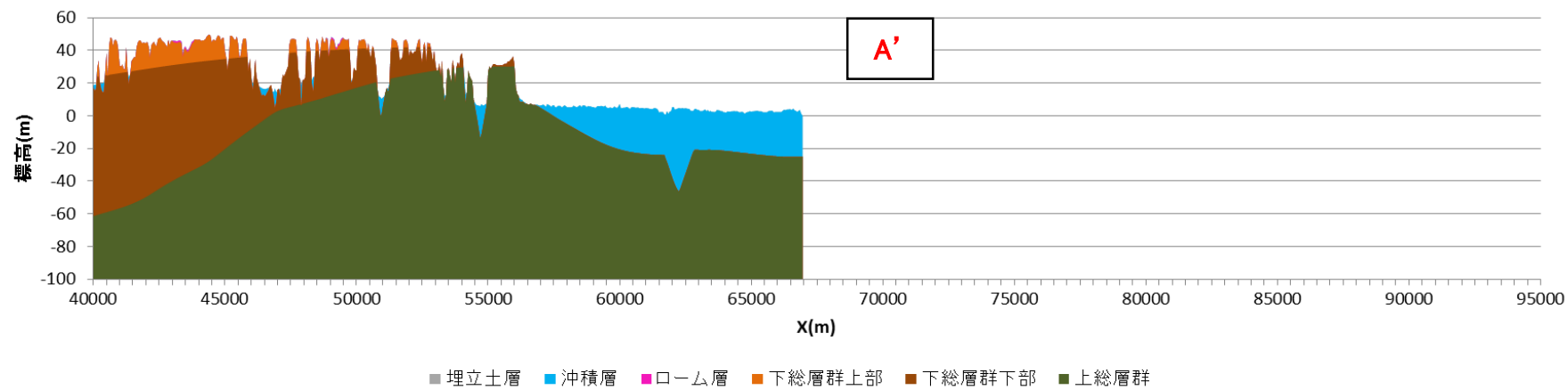
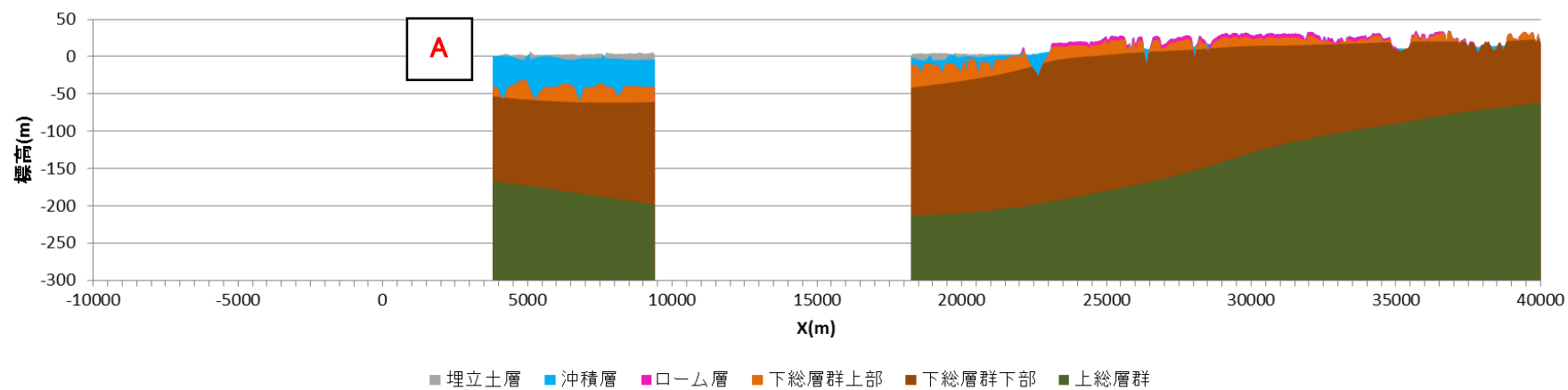


図 3-12 東西方向断面図 (Y=-40000m・X=5000~80000m) (例)

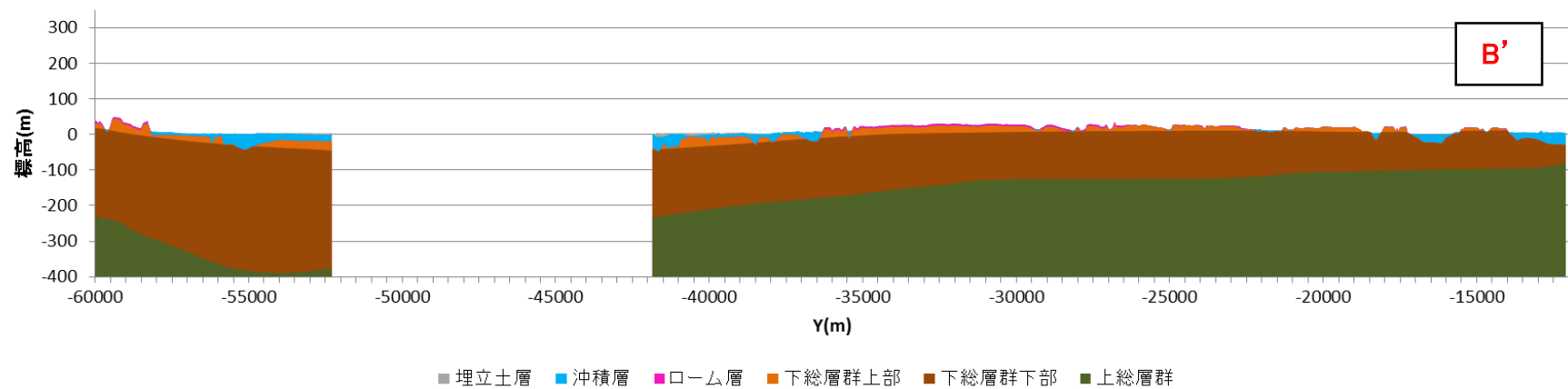
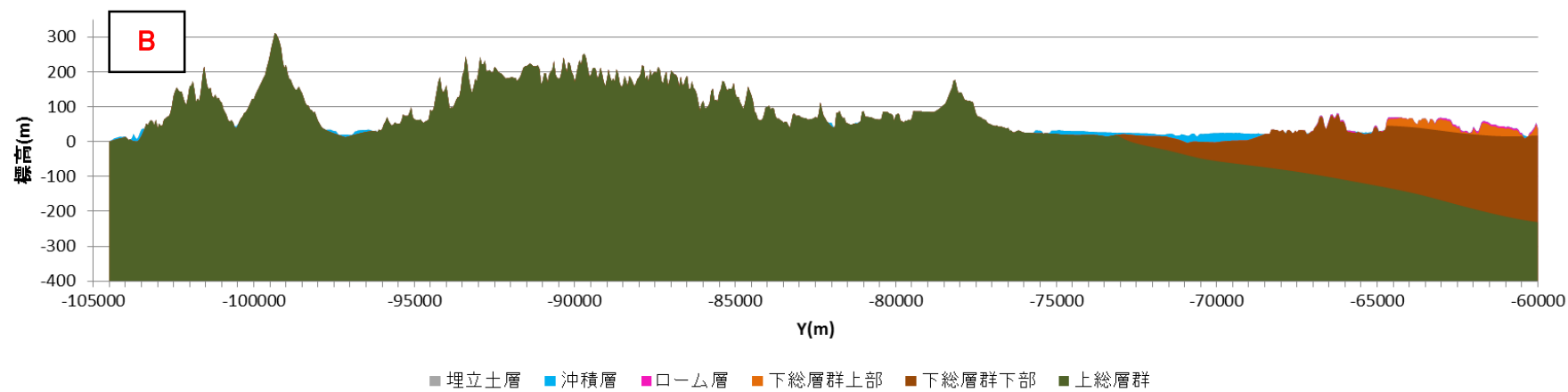


図 3-13 南北方向断面図 (X=20000m・Y=-105000~-12000m) (例)

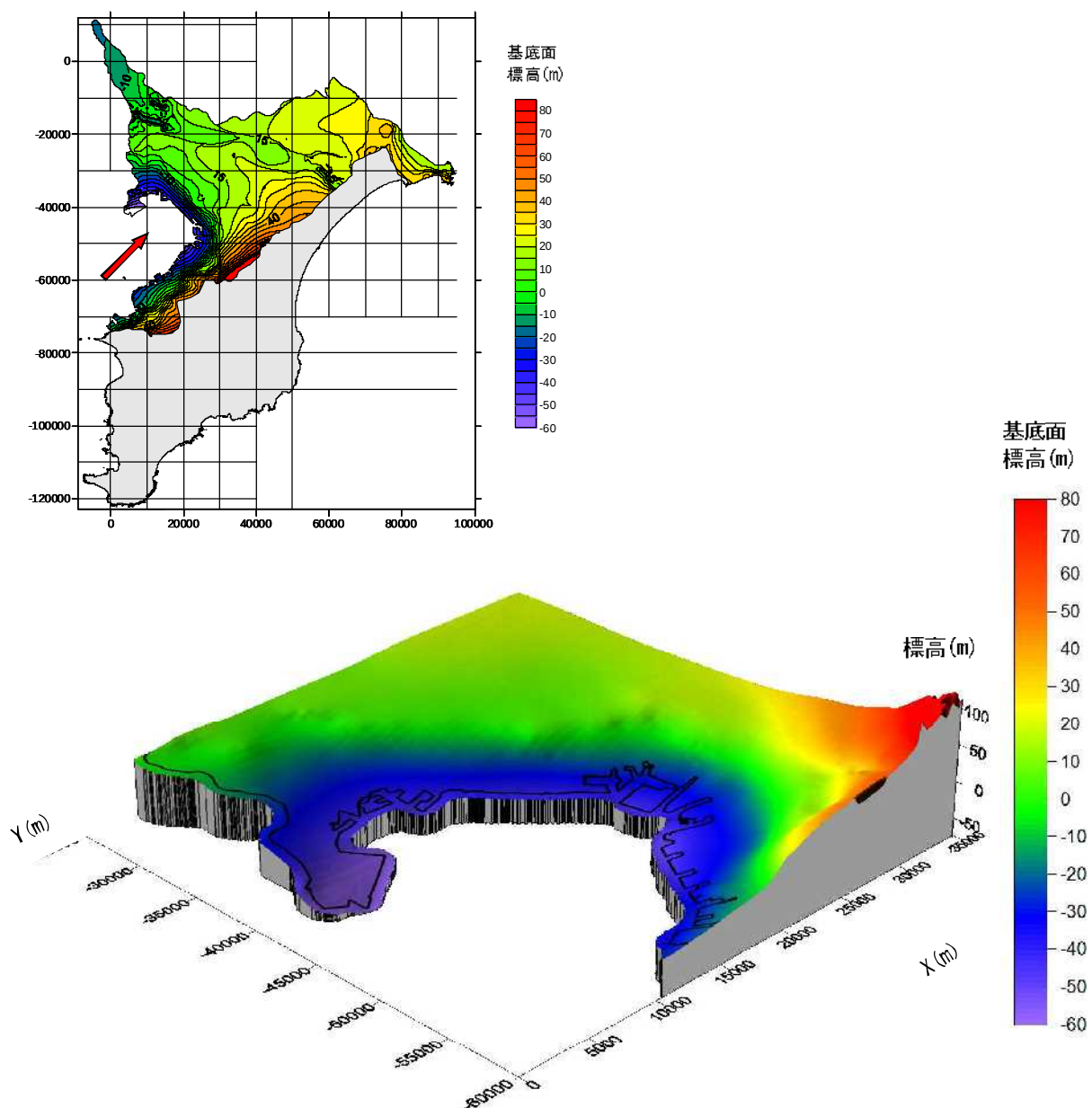


図3-14 N値50以上相当層 基底面3次元分布図（浦安市～千葉市・東京湾岸）
（赤矢印からの視角）

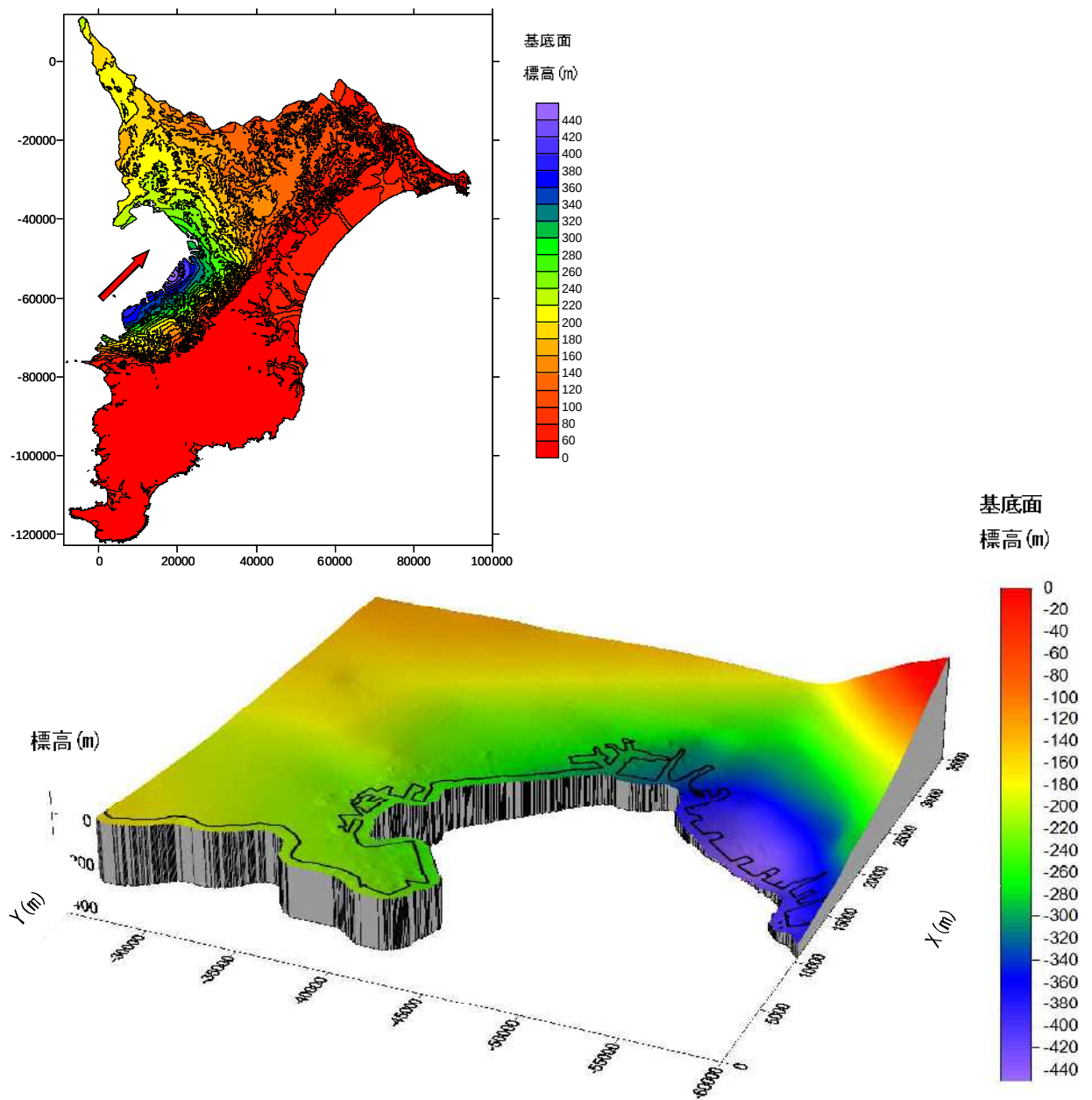


図 3-15 工学的基盤面の 3 次元分布図
(赤矢印からの視角)